

2021年6月24日

報道関係者各位

東京大学 大学院工学系研究科 松尾研究室  
株式会社スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミー

## AIの新潮流「シミュレーション×ディープラーニング」に携わる 次世代のAI人材育成を目的に東京大学 松尾研究室に寄付講座を設置

スクウェア・エニックス・グループでエンタテインメントに関する人工知能（以下 AI）の研究開発・事業推進を進める株式会社スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミー（本社：東京都新宿区、代表取締役会長：松田 洋祐）は、東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫）大学院工学系研究科松尾研究室と協力し、寄付講座「世界モデル・シミュレータ寄付講座」（以下、本講座）を開設します。期間は2021年7月から2026年3月までの最大5年間で、アドバイザーとして松尾研究室に参画することで、AIに携わる次世代の人材育成および両者の知見を合わせた新しいAIの研究開発を協働して推進します。

### ■「世界モデル・シミュレータ寄付講座」について

本講座では、スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミー社員協力・監修のもと、「シミュレーション×ディープラーニング」を軸に「世界モデル」や「言語理解」などの先端トピックを含めたAIに関する講義を実施します。

### ■設置の背景について

世界のAI研究開発は、現実世界より収集したビッグデータを活用したディープラーニングから、現実を模した仮想的な「シミュレーション」空間において生成・蓄積したデータを用いてディープラーニングを行う方向へとシフトしています。こうしたトレンドの変化によって、実際の工場などをシミュレーション空間内に再構成することで、より短期間かつ効率的にデータを生成・取得しディープラーニングを行うことが可能となるなど、様々な産業で活躍するAIが開発されることが期待されています。

更には、ディープラーニングによってシミュレーション空間自体を構築する「世界モデル」に関する研究や、このモデルに基づきAIが人間のように言葉の意味を理解する「言語理解」に関する研究といった、AIのポテンシャル拡大に資する研究も網羅することを想定しています。

今回、日本のディープラーニングの研究開発をリードする松尾研究室と、ゲームという仮想空間で様々な世界を構築してきた知見およびゲーム内で動作するAI研究開発に強みを有するスクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミーが協働することで、両者の強みを活かした人材育成および前述した分野を中心とした研究開発を推進してまいります。

本講座の設置を通じて、松尾研究室はAIに関する基礎的な研究の社会実装をさらに加速するとともに、ディープラーニングの研究をリードする人材を輩出することを目指します。スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミーは、ゲーム産業にも影響を及ぼす可能性がある「シミュレーション×ディープラーニング」について先進的に研究開発や知見の蓄積を行うことで、産業の変化への対応や、社の目的であるエンタテインメントAIの研究開発、次世代のエンタテインメントへの応用などの可能性を模索してまいります。

## <概要>

講 座 名 : 世界モデル・シミュレータ寄付講座

設 置 日 : 2021年7月1日(木) ※学生向け講座は2021年秋を予定

登 壇 者 : 未定

※一般聴講は不可

### ■東京大学 松尾研究室について

東京大学 松尾研究室は、人工知能技術の研究開発・人材育成・社会実装を通じ、社会に変革をもたらすことを使命として、各種の活動を進めています。具体的には、研究開発・人材育成・社会実装の3つの活動の柱を軸に、「新技術開発」「論文・書籍執筆」「教育」「コミュニティ形成」「共同研究」「ベンチャー創出」の6つのカテゴリの活動をしています。( <http://weblab.t.u-tokyo.ac.jp/about> )

### ■スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミーについて

スクウェア・エニックス・グループに蓄積されたAIやコンピューターグラフィックス(CG)等のアートに関する知識・ノウハウを活かし、ゲームのみならず幅広いエンタテインメントに活用できる「エンタテインメントAI」の研究開発と、他企業との連携も視野に含めた新たな事業分野の創出を目指しています。

( <https://www.squareenix-alchemy.com/jp/> )

## <ご参考>

### スクウェア・エニックス・グループについて

スクウェア・エニックス・グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンタテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ(累計出荷・ダウンロード販売本数8,200万本以上)、「ファイナルファンタジー」シリーズ(同1億6,100万本以上)、「トゥームレイダー」シリーズ(同8,200万本以上)、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。( <https://www.square-enix.com/> )

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道ご関係者からの本件に関するお問合せ】

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス グループ広報室

東京大学 大学院工学系研究科 広報室